

主催：岡山大学廃棄物マネジメント研究センター
岡山大学環境生命科学研究科

学生向けセミナー

海外での 実践的環境活動の魅力と 必要な知識

日時：2012年11月28日(水)

9:00~12:00(受付8:45)

会場：岡山大学 津島キャンパス

一般教育棟 A21号教室

プログラム

8:45 受付

9:00 ~ 9:10

岡山大学 廃棄物マネジメント研究センター長 吉川 賢氏
ご挨拶 「世界の環境活動に向けた大学の役割」

9:10 ~ 9:40

JICA独立行政法人 国際協力機構
JICA中国 中国国際センター市民参加協力課 山口 和敏氏
「環境に関わるJICAの海外協力支援事業について」

9:40 ~ 10:10

--- 特別ゲスト ---
ハノイ都市環境会社 (URENCO) LUONG THI MAI HUONG氏
「大都市ハノイの抱える都市ごみ問題」 (日本語通訳)

(休憩)

10:20 ~ 11:00

独立行政法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
循環型社会システム研究室 河井 紘輔氏
「ベトナムに根差すリサイクル社会の実態
~インフォーマルセクターの役割~」

11:00 ~ 11:40

独立行政法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
研究開発連携推進室 大塚 康治氏
「自然の宝庫を守れ！太平洋の島国が抱えるごみ問題
~マーシャル諸島のごみ処理事情~」

11:40 ~ 12:00

岡山大学 廃棄物マネジメント研究センター 藤原 健史氏
まとめ「アジアの環境研究、環境協力そして環境ビジネスへの期待」



課題
「海外の環境活動
について学んだこと」





おわりに（途上国支援の魅力とは）

- ① 人づくり ⇒ 国づくり
日本と相手国との協働作業による成果達成
- ② 日本にはないフィールド
生物多様性、公害、水資源、災害リスク、気候変動
- ③ 日本とは異なる状況
社会・経済（産業構造、所得水準、人口など）
文化 ⇒ コミュニケーションと相互信頼関係
- ④ 相手国（の人々）から学ぶ

課題

海外の環境活動

について学ぶこと